

We are not alone

恋はスロットマシン

We are not alone

監督・脚本/じんのひろあき
出演/佐伯日菜子・今村理恵
桜井亜弓・長谷川圭・安生洋二

もう、ひとりじゃない

We are not alone

主題歌「Distance」With Sexy
製作・配給:フルスウィング 企画協力:東京テアトル 株式会社ゲオ
90min/35mm/colour

We are not alone

We are not alone

We are not alone

もう、ひとりじゃない

鬼才じんのひろあきが贈る
ファンタスティック・スロットマシン・ラブコメディ!



永井 豪 (漫画家)

多重人格をテーマに、見事なロードムービーが誕生した! 斬新でスピード感あふれるカメラと、先の読めないストーリー展開に、ぐいぐい引き込まれた。じんのひろあき監督は、日本映画界に久方ぶりに現れた「超新星」である。

押井 守 (映画監督)

人はみな誰も多重人格。そのワガママな人格たちに疲れた貴方に贈る、ちょっと苦みの効いたドタバタ映画。あまり深刻にならず、諦めもせず、面白がって眺めるのが唯一の救いってものです。所詮は他人の人生なんですから――。

市川 準 (映画監督)

観ながら、ずっと、じんのくんの「企み」が消える瞬間を探していた。待ち望んでいたといってもいいかもしれない。しかしその様な瞬間はついに訪れなかった。そして、悔しいことに、「企み」だけを抱いて疾走しているような表現に、いつのまにか引き込まれてしまったという体験を、ずいぶん久しぶりに味わったような気がしてくるのだった。



多重人格スロットマシン ムービー現る!

ある日、オトコは恋をする。たおやかで優しい可憐な少女に。愛の言葉に少女もうなずく。オーケー、この世はバラ色だーい!と思った瞬間、2人の仲は引き裂かれる。そいつは歴史的運命でもなければ、生をムシバム不治の病でもないんだな、コレが。彼女は深い深い眠りに落ちたのだ。彼女は意識の向こう側に消えていく。なんと彼が愛したのは、8重人格のなかのひとりの少女。彼自身も5重人格のなかのひとり、ってんだから話はややこしい。



おまけに、2人とも人格がコロコロ入れ替わりやすい多重人格。彼は彼女を、彼女は彼を求め、たびたび意識の水面上に浮上するが2人はなかなか出会えない。彼が顔を出しても彼女のほうは潜っていて、ぜんぜん別の人格が彼を叱りとばしたりする。実は2人は脱走中。この男女(5+8=13人)は、人格融合治療中の療養所から駆け落ちしてきたのである。映画史上初のご多重人格スロットマシン・ラブストーリー>現る!

映画の常識をぶち破る 奇想天外な手法

多重人格を主題にした映画っていうのは役者にとってはなかなか魅力的なものらしい。たしかに「大魔人」的な人格から人格へのスイッチは、ここが演技の見せどころって感じがする。ところが、いくら演技力のある役者といえども、5重人格となるとチトキツイ。そこで、じんの監督はコペルニクスの発想の転換

をもってこの大問題をヌケヌケと解決した。つまり多重人格をひとつの肉体が演じるのではなく、複数の役者がそれぞれの人格を演じることによって表現してしまうという大胆不敵な手法を用いたわけだ。あまりといえばあまりのこの手法に呆れて観ているうちに、佐伯日菜子、今村理恵といういま大注目のアイドルが入れ替わり立ち替わり登場し、その愛くるしい姿に見とれながらも、映画は疾走し、追いつ追われつ、泣いたり叫んだり、愛し愛され(なかったりもして)、しまいには「自分とはなんだ」とか文学的に悩んだりしてしまう、とびきりポップなラブストーリーが完成した。

director's profile じんのひろあき

1962年、福岡県生まれ。脚本家。映画監督。劇団「マントルプリンシアター」主宰。コミック界初の書道漫画「ラブレター」(週刊ビッグコミックスピリッツ連載中)の原作者など、長い肩書きをもつマルチクリエイター。映画監督押井守に師事し、同監督初実写作品「紅い眼鏡」(1986年)の美術を担当する。87年、ディレクターズカンパニーシナリオコンクール1席入選。につかつロマンポルノ「ラストキャバレー」で脚本家デビュー。につかつロマンポルノ出身の最後のシナリオライターとなる。以降、金子修介、市川準、廣木隆一、黒沢清をはじめとする日本の新進監督にシナリオを提供。中原俊監督作品「桜の園」の脚本で、ヨコハマ映画祭脚本賞、キネマ旬報脚本賞、日本アカデミー賞優秀脚本賞を受賞し、注目を浴びる。また、ラジオドラマの脚本には定評があり、マイケル・クライトン「スフィア」、榎園かずお「わたしは真珠」、松本零士「1000年女王」、ダニエル・キイス「5番目のサリー」、カート・ヴォネガット「猫のゆりかご」、いとうせいこう「解体屋外伝」、手塚治虫「鉄腕アトム」、吉田秋生「バナナ・フィッシュ」など、150本以上の作品がある。タカラ「リカちゃん」のアニメーション、ボンキーズサマーコンサート、NHKアニメ「忍たま乱太郎」等、子ども向けの脚本も多く手掛けている。映画監督作品に「月より帰る」(企画・撮影・脚本、1994年)、「欲望だけが愛を殺す・ゲームの規則」(Vシネマ、1995年)がある。



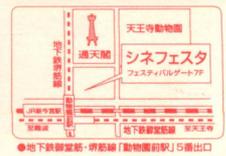
WITH SEXY
1st ALBUM
"Colours"
on sale!! (Ganesa)
映画「もう、ひとりじゃない」主題歌
「Distance」を含む全11曲
¥3,000 (税別)

じんのひろあき作品連続ロードショー!!

3/14(土) ~ 3/20(金) 月より帰る
3/21(土) ~ 4/3(金) もう、ひとりじゃない

●連日夜9:00より1回 ●前売り券(¥1,500)はぴあ・セゾン・CNの「シネフェスタ3・4月有効券」をお求め下さい。

フェスティバル・ゲート7F
動物園前 **シネフェスタ**
☎ 06-647-7188



●地下鉄新豊町・博覧場「動物園前駅」5番出口
●JR環状線・「新今宮駅」天王寺南出口よりスグ